

保険診療について

早期発見・早期治療でできる できるだけ歯を削らない治療

この先生に
聞きました！



江田歯科医院

一般歯科／予防治療／審美治療／インプラント／入れ歯

院長

江田 英一郎 先生

Eiichiro Eda

Profile

九州大学歯学部卒業後、九州大学歯学部付属病院第一補綴科勤務。大病院や専門病院に勤務すると共に、特別養護老人ホームでも歯科治療を施し、高齢者の口腔内の衛生維持や入れ歯についての造詣を深める。ゲン歯科クリニック、江田歯科医院に勤め、2007年江田歯科医院の2代目として医院を引き継ぐ。患者への気配りや応急処置も父より受け継ぎ、思いやりを大切に、確かな技術を提供する。

保険診療で手にいれる
金属を使わない「白い歯」

美容室に通う感覚で
歯のメンテナンスを

西鉄天神大牟田線・薬院駅から徒歩3分のところにある『江田歯科医院』。ここでは、保険診療でできる「白い歯」に力を入れている。コンピュータによる精密な技工ができるCAD/CAM冠（キャド・キャムかん）システムで作る白い被せ物のことだ。コンピュータ上で設計し、器械で専用のハイブリッドレジンブロックを切削・加工して白い歯を作る。丈夫で長持ちする素材で、白い被せ物の中でも着色しにくく、舌触りも良いのが特長。また、金属を使っていないので、アレルギーの心配もない。昔治療して入れた金属の被せ物が気になっている人や、今口の中にある被せ物のザラザラした舌触りが気になっている人にもおすすめだ。白い歯と言えば、費用が高いセラミックをイメージする人も多いだろう。また、保険診療で



モニターでCT画像や口腔内のカラー写真を見せて説明する。治療に選択肢がある場合は患者に選んでもらい、納得してもらってから治療を行なう

できる詰め物や被せ物になると、銀歯しか選択肢がないように思われるかもしれないが、現在、保険でできるむし歯治療の幅が広がり、小さな詰め物であれば、金属を使わない白い歯も適用となった。また、以前は奥歯の一部のみ保険適用されていたが、2020年9月より、前歯にも適用され、今ではほとんどの歯を保険診療で治療できるよう。

『江田歯科医院』には、院内に「技工室」があるのも大きな特長

だ。全国的に院内に歯科技工士のいない歯科医院が多く、被せ物や入れ歯の加工などは外注することが多いが、ここでは常駐する歯科技工士がすぐに被せ物などを作ることができるため、取り付けが非常に早い。

また、むし歯治療では、歯を削るのは最小限に、精密にむし歯を除去することを心がけている。従来の基本的なむし歯治療では、むし歯菌の感染の疑いのある部分を大きく削ったり、場合によっては神経を取ったりすることもあったが、この治療法では生まれ持った歯の大部分を犠牲にしてしまう。現在は、できるだけ歯を削らない「MI（ミニマリンターベンション）治療」が可能だ。細いバーでキツツキのようになり、本当に悪くなった部分だけを削り除いて修復することができる。そのため、弱い麻酔でも治療ができる場合や、まったく

麻酔が必要ない場合もあるという。歯の治療は痛くて怖いというイメージを持っていた人も安心だ。場合によっては再治療が必要なこともあるが、最初の治療が小さければ小さいほど、次の治療も軽く済む。一度大きな治療をすると歯周病が進みやすくなり、さらに歯周病が進むと歯を抜かなければいけないことも。歯を抜くと、インプラントやブリッジが必要になり、どんな悪循環を繰り返す。治療の程度が歯の寿命に関わるのだ。

MI治療を可能にするには、もちろん早期発見・早期治療が欠かせない。「理想は2〜3カ月に1回、定期検診に来ていただくことです。まずは半年に1回から始めてみてください。美容室に髪の毛のメンテナンスに行くような感覚で、歯のメンテナンスのために歯科医院に通って欲しいです」と、江田先生。歯の表面や隙間、歯と歯肉の間に蓄積される歯垢や歯石を定期的に除去することが、むし歯や歯周病の予防に繋がる。歯磨きが苦手だと感じている人は、こまめにメンテナンスを訪れるの



プライバシー配慮した半個室の診療室で落ち着いて治療を受けられる。レントゲンで撮影したものは、各ユニットに設置されたモニターですぐに確認できる

診療科目							
一般歯科、予防治療、審美治療、インプラント、入れ歯							
診療日	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	—
14:30~18:30	○	○	○	○	○	—	—

休診：土曜午後、日祝日

Medical Topics

セレックによる 精度の高い被せ物・詰め物

口腔内を3Dカメラで撮影し、設計通りにセラミックのブロックを削ることで被せ物や詰め物を作製できるシステム「セレック（CEREC）」を導入している。従来のような歯型を取ることなく、ほぼズレや誤差の



従来にない新しい治療法として、ヨーロッパやアメリカを中心に世界中で多くの歯科医院が採用する、最先端のCAD/CAMシステム「セレック（CEREC）」

ない被せ物や詰め物を作ることができる。粘土のようなものを口に入れて歯型を取るのが苦手な人にもおすすめです。また、被せ物や詰め物を入れる際、セロファンを口に入れて引き抜けるか調べる「引き抜き検査」を実施することがある。セレックがあればその検査が必要ないので、治療時間や取り付け時間が短縮され、最短で来院した当日のうちに高精度の被せ物や詰め物ができる。

「理想は2〜3カ月に1回、定期検診に来ていただくことです。まずは半年に1回から始めてみてください。美容室に髪の毛のメンテナンスに行くような感覚で、歯のメンテナンスのために歯科医院に通って欲しいです」と、江田先生。歯の表面や隙間、歯と歯肉の間に蓄積される歯垢や歯石を定期的に除去することが、むし歯や歯周病の予防に繋がる。歯磨きが苦手だと感じている人は、こまめにメンテナンスを訪れるの

がおすすすめだ。一人ひとりの歯に合わせて上手な磨き方を教えてもらえるので、自宅でも正しいブラッシングを続けることで口腔内の健康を保つことができる。

現在、江田歯科医院の患者のうち約3分の1が検診のために訪れているという。今後、歯科医院の役割はむし歯治療よりも定期検診が中心となっていくのではないかと考えられる。歯が痛くなってきたら治療するための場所というより、むし歯にならないように予防するための場所として、歯科医院に気軽に足を運んで欲しい。

Hospital Data

江田歯科医院



〒810-0022
福岡市中央区薬院1-6-24
☎092-741-6525
<https://eda-dental.com/>



WEBはこちら